

信州大学教育学部主催 「青少年のための国際理解の祭典」

～国際理解の俳句・短歌コンテスト～

俳句・短歌部門共に最優秀賞（信州大学学長賞）・最優秀学校賞受賞！

信州大学教育学部が実施した「青少年のための国際理解の祭典」～国際理解の俳句・短歌コンテスト～において、俳句部門で久保田百花さん（1年園芸クリエート科）、短歌部門松村尚美さん（2年アグリサイエンス科）がと学校も表彰を受けました。3月20日長野市の信州大学教育学部において

<受賞作品>

俳句部門 **ハイチ地震 国境超えた 助け合い**

短歌部門 **ハイチ地震 遠くの国の 災害に 世界が動く 復興支援**

<受賞理由>

近々に起こった世界の情勢を見極め、世界の人々が人種や国境を越えて助け合うことの大切さを素直に詠んだ感性と国際社会に寄せる優しい目線が評価されました。

講評は 近々の世界の情勢に目を向けていること。世界の人々が、人種や民族、国境を越えて助け合いをすることが必要だという心優しい目線や感性が高く評価されました。

また、表彰式に同席された マリ共和国大は、日本の高校生がこのような日本文化の1つ中である俳句や短歌を詠む感性や教養を持っていることや、世界の平和を願って国際社会にアピールできるような作品を詠めることがすばらしい。特に、ハイチ地震のことを詠んだ作品には大変感動しました。と、久保田さんと松村さんと記念の写真撮影をしました。

入選以外の下農生の応募作品の中には、ハイチ地震だけでなく、環境問題や、食糧問題、オリンピック、貧困・飢餓等国際社会の様々な問題を鋭くとらえた作品も多く見受けられました。



信州大学山沢清人学長から最優秀賞（学長賞）を授与される
俳句の部 久保田百花さん（左）1C・短歌の部 松村尚美さん（右）2A1



マリ共和国大使と一緒に



さらに、優秀校賞（高校生部門） もいただき、トリプル受賞となりました。

今年度、国際理解教育に関する作文・短歌等への応募審査で、中部大学・JICA・拓殖大学でそれぞれ、「優秀校賞」や「特別学校賞」を受賞しました。今回の信州大学の優秀校賞をあわせると4つ目の学校賞受賞となります。過去5年間の最優秀賞や、部門賞、佳作等も数多くの作品が入選しています。

下農生の「農」を基本とした四季折々の自然の中で育まれた、柔軟でみずみずしい感性と国際社会にむける目線の確かさ・優しさを感じます。日ごろの全教職員の生徒たちへの惜しみない教育活動の成果と、新渡戸稲造先生の教えを受け継ぐ学校の生徒とし、しっかりと国際感覚が育まれています。